

# 植生図から見た八千代市の環境

林や草地、畑や水田などがどのように広がっているかを地図に表したものを“植生図”といいます。植生図によって市内の環境をおおまかに知ることができます。ここでは植生を外観から見て15種類に分けて色ぬりをしてあります。

白い部分は市街地や造成地で植物の少ないところです。市内にはこの面積がずいぶん多いことがわかります。色ぬりしてある樹林や草原、水田、畑などは全体から見れば少なくなっていますが、市の環境としては大切な植生です。

大きく見ると、新川や桑納川、神崎川などに沿った低地には水田が、台地には畑やスギ林、果樹園などがあります。台地と低地の境の斜面には樹林があります。

樹林にはコナラやイヌシデ、ムクノキなどの落葉広葉樹林、スダジイ、シラカシ、アカガシなどの常緑広葉樹林、この両方の交じった林、それにスギやヒノキの針葉樹林などがあります。

境内にはスギの巨木があり、近くの熱田ヶ池公園ではイヌシデ、シラカシ、コナラ林が見られます。



A 熱田神社（佐山）

ゴルフ場の中に残るアカマツの林です。市内のほかのマツ林はほとんど枯れてしまいました。



B 中山カントリークラブ



C 桑納川



D 北に斜面林を背負った集落（桑納川沿い）



E 石神谷津



早春に穂をそろえるイヌシデ

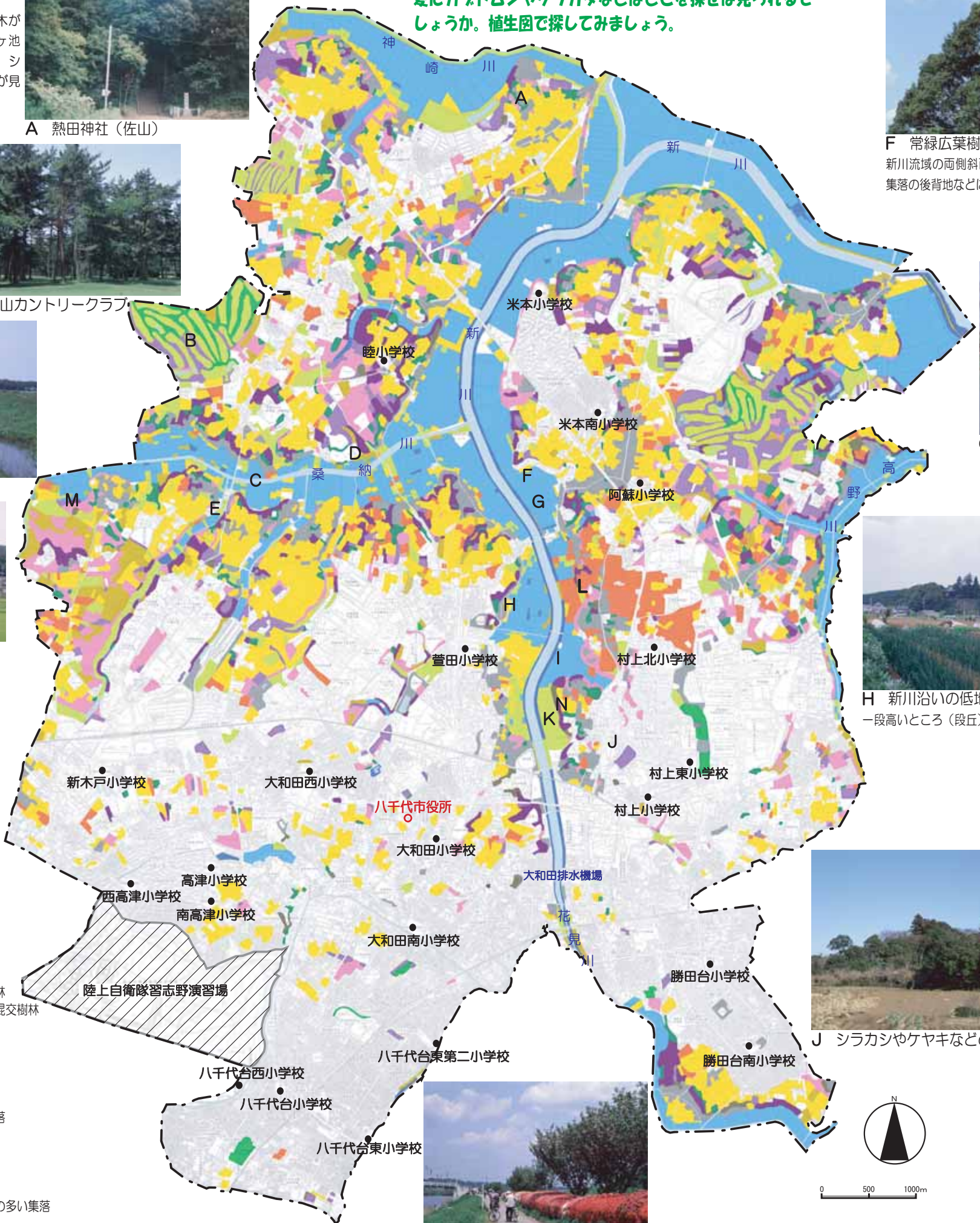


カントウタンポポ

昔からのタンポポで谷津の奥などに少し生育しています。市街地などに多いのはセイヨウタンポポ（外来種）です。

- 凡例
- 常緑広葉樹林
  - 常緑・落葉混交樹林
  - 落葉広葉樹
  - マツ林
  - スギ林
  - 竹林
  - 高茎の草原
  - 抽水植物群落
  - 低茎の草原
  - 水田
  - 畑地
  - 果樹園
  - 屋敷林・緑の多い集落
  - 水域
  - 市街地・造成地・人工構造物

学校やあなたの住んでいるまわりはどんな植生でしょうか？夏にカフトムシやクワガタなどはどこを探せば見られるでしょうか。植生図で探してみましょう。



F 常緑広葉樹林（スダジイ林）  
新川流域の両側斜面の一部、神社林の一部、古い集落の後背地などにその形を残しています。



落葉広葉樹林（ムクノキ林）  
冬には全部落葉します。



G 新川沿いの水田



キツネノカミソリ  
落葉樹林や混交林の林床、林のふちに生えます。★詳しくは裏面に載っています。



H 新川沿いの低地  
一段高いところ（段丘）には畑が広がっています。



I 新川沿いの水田わきの小水路



J シラカシやケヤキなどの屋敷林



タケ林  
近ごろはタケの林が増えて、ほかの林の中まで入りこんでいます。また林の下やまわりにアズマネザサが増えています。林に人の手入れが及ばなくなったせいでしょう。樹林は適度な手入れが加えられることでよい状態が保たれます。



K 新川沿いの遊歩道